

三原市立宮浦中学校第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

単元名：「職場体験学習から自己を見つめなおそう」

指導者：三原市立宮浦中学校 松岡 雅子

- 1 日 時 : 平成29年9月25日(月) 第5校時
 2 場 所 : 2年3組教室
 3 学年・学級 : 第2学年3組(男子14名 女子17名 計31名)
 4 単元名 : 職場体験学習から自己を見つめなおそう

(1) 単元観

本学年の生徒は1年時に自分たちの住む三原や、宮浦についての良い点、課題点などを新聞記事やインターネット、地域の人材へのインタビュー体験など様々な方法で情報を収集した。それを模造紙やパンフレット、パワーポイントへまとめたり、発表したりする活動を通して学習してきた。

本単元では夏季休業中に行われる職場体験学習や自分自身の特性をみつめた自己PR・自分に合った仕事を考える活動等を通して職業観・勤労観を育成するとともに、社会で求められる汎用的な資質・能力の育成を図る。

また1年時で学習してきた三原の良い点、課題点についても、職場体験を通して実感し、新たな視点を持つことができ、今後どのように三原の街をつくっていくかを考えることにつながるのではないかと考える。

さらに総合的な学習の後半の『首都東京と比較して三原を見つめなおそう』の単元において、三原と東京を比較する上での情報として活用できる。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

2年生が6月に行った「基礎・基本」定着状況調査の生徒質問紙の「生活と学習に関する調査」の「課題発見・解決学習」の領域における結果は以下の通りである。

学習過程	内 容	肯定的評価 (%)	
		本校	広島県
課題の設定	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみよう」と思います。	58.6	68.4
	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	68.1	74.3
情報の収集	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	29.3	39.9
	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	33.6	48.0
整理・分析	授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	41.4	53.1
	授業では、情報を、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見つけたり(関連付け)して、何が分かるのかを考えています。	58.6	66.0
まとめ・創造・表現	授業では、自分の考えを積極的に伝えていきます。	38.8	58.2
	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	44.0	59.4
実行	授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。	56.9	66.2
振り返り	学習の振り返りをするときには、「どこまでわかったか」「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	65.5	66.1
	学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	56.0	59.0

その他	ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。	62.1	72.4
	授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	79.3	77.5
	授業では、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動をしています。	58.6	56.3
総合	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	69.0	67.5

「課題発見・解決学習」に関する質問において、多くの項目で肯定的評価が5割前後であり大変低い。

「情報の収集」の項目では、「授業では、課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりします」の項目は肯定的評価が29.3%、「授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています」の項目は33.6%と4割を下回り、生徒はどのような方法でどんな情報を収集すればよいのか考えたり、実際に情報を収集したりする経験がまだ少ないことがわかる。

「まとめ・創造・表現」では「授業では自分の考えを積極的に伝えていきます。」が38.8%、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。」が44.0%と過半数を下回っており、広島県の結果と比較すると15%以上低く、生徒は自分の意見をまとめたり、聞き手を意識して表現する力が不足している。

一方、「総合的な学習の時間」に関する質問においては、69.0%とやや高く、課題意識を持ち主体的に活動していると考えられることができるが、3分の1の生徒は否定的に捉えているので、今後授業改善をしていき、肯定的評価を向上させていきたい。

(3) 指導観(指導改善のポイント)

本校では『課題発見・解決学習』の単元開発および実施をしてきた。総合的な学習の時間においても、課題を自分たちで設定し、解決のための手段や情報を様々な方法で収集し、様々な人と協働して解決していく活動を行ってきたが、生徒の主体的な学びにまで高められていないことが明らかとなった。

話し合い活動を通して、自分の考えを深めていると感じている生徒が多いので、グループ学習で自分の考えを伝えさせ、課題である表現力を育成していきたい。生徒の発言を繋いでいくような展開を心がけて、様々な意見を引き出しまとめていくような展開にしていく。

情報の収集の項目に対しても肯定的評価が低いので、それを向上させるために「調べたいことは何か」、「それを調べるためには何を活用したらよいか」など、確認や見通しをもたせた上で、生徒自らが情報の収集の方法を考え取り組んでいくように促していきたい。

支援を必要とする学習者については、ペアやグループなどの学習形態の工夫や、適切な声掛けによって課題設定の仕方や情報の収集などの手段を丁寧に支援していきたい。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。本単元においては5つの資質・能力をすべて育成する。評価方法・評価規準については「5 単元の目標と評価規準」に記載。

【知識】	【スキル】	①課題解決能力	②表現力
【意欲・態度】		③主体性	④協調性
			【価値観・倫理観】
			⑤公共心

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

- ①職場体験学習を通して自分自身を見つめ、社会で生きていくのに必要な資質・能力に気づき、その能力の向上を図る。
- ②職場体験学習で得られた情報を整理し、まとめて、表現することができる。

【知識】		○働くことの意義や、職場や社会で必要とされるマナーについて理解している。
【スキル】	①課題解決能力	○自分自身の特性や課題を見つめ、職場体験学習を行うことを通して、実際に社会で必要とされる資質・能力に気づき、それを身に付けることができる。
	②表現力	○さまざまな方法で収集した情報を、ことばや図、表などを用いて、相手に分かりやすく伝えることができる。
【意欲・態度】	③主体性	○課題に対して、自ら進んで取り組み解決しようとする。
	④協調性	○自分と異なる意見や立場を大切にして、よりよい解決に向けて協力して取り組もうとしている。
【価値観・倫理観】	⑤公共心	○社会の一員として、場所、相手や自分の立場をわきまえた行動ができる。

6 指導と評価の計画

全55時間

次	学習内容 (時数)	育成したい 資質・能力	評価規準 (評価方法)
1 自己の特性を知ろう	・1年生の学習内容の振り返り ・2年生の総合的な学習の内容やその見通しを持つ (1) 課題の設定	①課題解決能力	・1年間の活動を見通し、自分自身や地域社会とどうかかわっているのかを考えることができる。(行動観察)
	・自己の特性を理解し、相手によりよく自分を伝えることができる自己PRをすることができる 情報の収集	②表現力	・自分で調べたことや考えたことを相手にわかりやすく表現できる。(行動観察)
	・自分に向いている職業が何かを考えたり、相手にふさわしい仕事を考えている (1) 情報の収集	④協調性	・自分や相手の特性やアンケート結果から向いている職業について考えることができる。(ワークシート)
2 職場体験学習の意義を考えよう	・身近な人に仕事についてのインタビューを行い、ウェビングマップを活用し働くとはどういうことか整理し、まとめる (1) 整理・分析	②表現力	・インタビューのまとめを要約し、相手にわかりやすく伝えることができる。(行動観察)
	・働く意義について考え、社会の一員として何をすべきか考える。(1) 整理・分析	③主体性	・働く意義とは何かを主体的に分類することができる。(行動観察)

2 職場体験学習の意義を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習に行く意義をK J法を用いて考え、深める (1) <p style="text-align: center;">整理・分析</p>	④協調性	・職場体験に行く意義とは何か様々な意見を集めて、整理分析をして班で意見をまとめることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・世間に存在しているいろいろな仕事について調べる、それを発表する (1) <p style="text-align: center;">情報の収集</p>	②表現力	・自分が調べたい職業についてまとめ、それを相手に分かりやすく伝えることができる。
3 職場体験学習の事前準備をし、心構えをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PR文を思い出し、自分が頑張れることを考え、職場体験の事業所へ決意 (願書) を書く (第1回グループ会) (1) <p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p>	②表現力	・職場体験でどういことを学びたいのかを考えながら願書を書いている。(作品)
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の事前打ち合わせのアポイントの取り方を学習する (第2回グループ会) (1) <p style="text-align: center;">情報の収集</p>	⑤公共心	・相手の立場をわきまえた電話連絡ができるようになる。(行動観察)
	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー講座を行い、職場体験学習で必要とされるマナーや礼儀について学ぶ (2) <p style="text-align: center;">情報の収集</p>	①課題解決能力	・職場体験学習で必要な礼儀やマナーについて学び、実践しようとしている。(行動観察・感想)
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場への事前訪問のロールプレイングを行う (1) (第3回グループ会) <p style="text-align: center;">情報の収集</p>	⑤公共心	・社会の一員として、場所、自分や相手の立場を考えた言動ができる。(行動観察・振り返り)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問後の打ち合わせ (1) (第4回グループ会) <p style="text-align: center;">整理・分析</p>	④協調性	・事前訪問で連携した内容を全員で確認し、共通認識をもつことができる。(ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習の結団式 (1) <p style="text-align: center;">情報の収集</p>	①課題解決能力	・職場体験で学習する意義を全員で確認し、どのような心構えで臨むのか課題意識を持つ。(ワークシート)
4 職場体験学習	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験学習本番 (30) <p style="text-align: center;">課題の設定 情報の収集</p> <p style="text-align: center;">整理・分析 まとめ・創造・表現</p> <p style="text-align: center;">実行 振り返り</p>	①課題解決能力 ②表現力 ③主体性 ④協調性 ⑤公共心	・今まで学習してきたことを踏まえて、自ら課題意識を持ち活動に主体的に取組み、自分でできることは積極的に言い、事業所の方や仲間と協力して、社会やお店のために貢献しようという姿がみられる。(行動観察、自己評価、事業所の評価)
5 んだことをまとめて発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験学習での活動を振り返り、まとめたものを交流する (1) <p style="text-align: center;">整理・分析</p>	②表現力	・活動内容を振り返り、要点を絞ってわかりやすくまとめることができる。(行動観察)
	<ul style="list-style-type: none"> 職場体験でお世話になった事業所へ礼状を書く (1) <p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p>	②表現力	・職場体験の活動内容を振り返り、お世話になった事業所の方へ感謝の気持ちを表現することができる。(礼状)

5 職場体験学習を振り返り、学んだことをまとめて発表しよう	職場体験の目的と実際の活動でそれが達成できたか振り返る（事前・事後の比較）（1） 振り返り	①課題解決能力	・体験の事前に持った課題意識をこの体験で解決できたかを振りかえる。（アンケート）
	職場体験のまとめを作成する（1） 課題の設定	④協調性	・職場体験での活動内容をどのように発表すれば相手にわかりやすく伝わるのかを話し合う。（行動観察）
	職場体験学習のまとめの新聞や寸劇を制作する（5） 【本時 1/5】 まとめ・創造・表現	②表現力 ④協調性	・職場体験で学んだことを新聞にまとめ、相手に表現する。（行動観察・ワークシート） ・職場体験学習で学んだことを学級で協働して作成し、寸劇として表現できる。（行動観察）
	文化祭にて職場体験で学んだことを寸劇にして発表（1） まとめ・創造・表現	②表現力	・観客に自分達の伝えたいことが伝わるような寸劇を行う。（行動観察）
	職場体験で学んだことを今後のどのような活かしていきたいのか考える（1） 振り返り	①課題解決能力	・今までの取組みを振り返り、自分自身が今後どのように生活していかなければならないかを考える。（自己評価）

7 本時の展開

(1) 本時の目標

・職場体験学習で学んだことや感じたことを相手にわかりやすく伝えることができる。

(2) 観点別評価規準

◎職場体験学習で学んだことを的確にまとめ、それを相手に分かりやすく伝えることができる。

評価方法：行動観察・作品

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
② 表現力	A 職場体験学習で学んだことをまとめ、要点を整理し、大きな声で、ゆっくりと話し、聞き手の目を見ながら、わかりやすく表現できる。 B 職場体験学習で学んだことをまとめ、要点を整理し、大きな声で、ゆっくりと話し、聞き手にわかりやすく表現できる。 C 職場体験学習で学んだことを、要点を整理し、わかりやすく表現できる。

(4) 準備物

まとめの新聞、ワークシート

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする 資質・能力
導入	○本時の目標の確認 【本時の目標】 職場体験学習で学んだことを聞き手にわかりやすく伝えることができる。		
	○プレゼントはどういうものか理解する。 ○どのような工夫をすれば相手に分かりやすく伝わるのか考える。 課題の設定	■プレゼンをしている人の写真を掲示し、プレゼンするイメージを湧かせる。 ■相手にわかりやすく伝えるためにはどうすればよいか思い出させる。	
	【よりよい発表 (プレゼン) の条件】 ①大きな声でゆっくり話す ②聞き手の顔を見る, 豊かな表情 ③わかりやすい内容		
展開	○個人で自分の仕事新聞を見て発表原稿を作成する。 個人思考	■自分の仕事新聞の中から, 特に相手に伝えたいポイントをはっきりさせ, 30 秒程度の発表原稿を作らせる。 ◆発表のひな型を示して, そこに自分の体験したことや考えを入れるだけで原稿ができるようにさせる。	
	○個人で作成した原稿を声に出して読む練習を行う。実際に読んで伝わりにくい点などあれば修正する。	■声を出して読むことで, 課題を見つけさせる。また大きな声を出すよう留意させる。	
	○グループになり, 1 人ずつ順番に発表していく。	■原稿を読むだけでなく, 相手の顔を見て発表させる。	②表現力 (行動観察・ワークシート)
	○発表が 1 人終わったら, 相手の発表を評価し, それを交流させる。 集団思考	■1 人の発表が終わったら, 感想を書かせて評価させる。 ■相手から感想をもらったなら, どこを改善すればよいかを振り返らせる。	・職場体験学習で学んだことを, 要点を整理し, 的確にまとめ, 大きな声で, ゆっくりと話し, わかりやすく表現できる。
	【主体的に学んでいる姿】 ・グループでお互いに情報や意見を交流し, 共感したり, 仲間の発表から学ぼうとしている姿。また, 聞き手を意識して伝えようとする姿。		

	<p>○グループ全員の発表が終わったら、班で誰の発表が最も良かったか話し合い、代表者を決める。</p> <p>○各班の代表1名が全体の前で発表する。発表が1人終わったら、評価をしていく。前の発表者よりもよりよい発表をする。</p>	<p>■班の中のMVPの生徒が全体の前で発表する。</p> <p>■1人が発表したら、評価を言わせる。次の人はその評価を自分の発表に反映させ、最後の人が一番いい発表になるよう意識させる。</p> <p>■聞く態度も大切であると伝える。</p>	
ま と め	<p>○本時の振り返りをする。</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p>	<p>■発表が上手な人と、自分の発表を比べてどうすればもっとよくなるのかを繰り返させる。</p>	

(6) 板書計画

総合的な学習の時間

【本時の目標】 職場体験まとめを相手にわかりやすく伝えることができる。



よりよい発表（プレゼン）の条件は？

- ①大きな声，ゆっくりはなす
- ②相手の顔を見る，表情 + 聞く態度
- ③わかりやすい内容，自分の考え